

和気町バリアフリー基本構想策定の背景と目的

1 策定の背景と目的

今日の我が国では、本格的な高齢社会の到来や、ノーマライゼーションの理念の浸透、ユニバーサルデザインの考え方の導入により、あらゆる人の利用を念頭に置いた環境づくりが求められています。このような背景の中、国では、より一体的・連続的な移動空間を形成するための総合的なバリアフリー施策の推進を目的に、平成18年に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（通称：交通バリアフリー法）」（平成12年）と、「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（通称：ハートビル法）」（平成6年）が統合され、新たに「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（以下「バリアフリー法」という。）が制定されました。

また、平成30年及び令和2年にバリアフリー法が改正され、旅客施設を中心とした地区や高齢者、障害者等が利用する施設が集まった地区（移動等円滑化促進地区、重点整備地区）において、公共交通、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機等の「面的・一体的なバリアフリー化」を推進するために市区町村が作成するものとして、「移動等円滑化促進方針」（以下「マスタープラン」という。）や「移動等円滑化基本構想」（以下「基本構想」という。）が規定されました。

本町においても、JR 和気駅周辺を中心に、道路や駅前広場の拡幅・整備を行ってきましたが、総合的なバリアフリー施策の推進に向けて、旅客施設や建築物、駐車場、都市公園等を含めた一体的なバリアフリー化や心のバリアフリー※の推進等を図っていくことを目的に、「和気町バリアフリー基本構想」を策定します。

【バリアフリーとは】

高齢者、障害者等が生活していく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的、情報面での障壁などすべての障壁を除去する考え方です。

【高齢者、障害者等とは】

「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（国土交通省 令和3年3月）」では、「高齢者、障害者等には、高齢者、障害者（身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者を含む全ての障害者）のみならず、妊産婦やけが人等が含まれます。」としていますが、ここでは、ガイドラインに示す対象者に加え、全ての高齢者やベビーカー利用者などの子育て世代、外国人、LGBTQを含めた多様な人々を対象とします。

※心のバリアフリー：様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画（2017年2月ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）」より

2 マスタープラン・基本構想とは

マスタープラン: 全町及び移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化の促進に向けた方針を示したもの。

基本構想: 重点整備地区を位置付け、具体的な特定事業を定めるもの。



図 マスタープラン・基本構想のイメージ

(出典: 移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン (国土交通省))

市区町村は、国が定める「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、移動等円滑化促進地区及び重点整備地区について、マスタープラン及び基本構想を策定するよう努めることとされています。

マスタープラン及び基本構想で定めるべき事項は概ね重複していますが、基本構想では、重点整備地区において、面的・一体的なバリアフリー化を推進するために必要な事業を特定事業として定めることとしています。

なお、本町では、基本構想のみの策定を予定しています。通常マスタープランで定める事項（全市及び移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化の促進に向けた方針など）については、「和気町バリアフリー基本構想」において包括的に整理します。

表 基本構想で定める事項

基本構想で定める事項 (バリアフリー法第25条)
<ul style="list-style-type: none">重点整備地区の位置及び区域生活関連施設及び生活関連経路並びにこれらにおける移動等円滑化に関する事項移動等円滑化のために実施すべき特定事業その他の事業に関する事項その他重点整備地区における移動等円滑化のために必要な事項重点整備地区における移動等円滑化に関する基本的な方針について定めるよう努める市町村が行う重点整備地区に所在する旅客施設の構造及び配置その他の移動等円滑化に関する情報の収集、整理及び提供に関する事項を定めることができる

※生活関連施設：高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設のこと。

※生活関連経路：生活関連施設相互間の経路のこと。

3 策定の主な流れ

本協議会を中心に、当事者や事業者の参加の機会を設け、令和5年度中に基本構想の策定を予定しています。

基本構想策定後は、基本構想に位置付けた特定事業を中心に、バリアフリー化に向けた取り組みを推進していきます。

4 基本構想の位置づけ

和気町バリアフリー基本構想は、バリアフリー法及び国の定める移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、「第2次和気町総合計画」等の上位関連計画と整合を図りながら、バリアフリー化を推進するものとします。

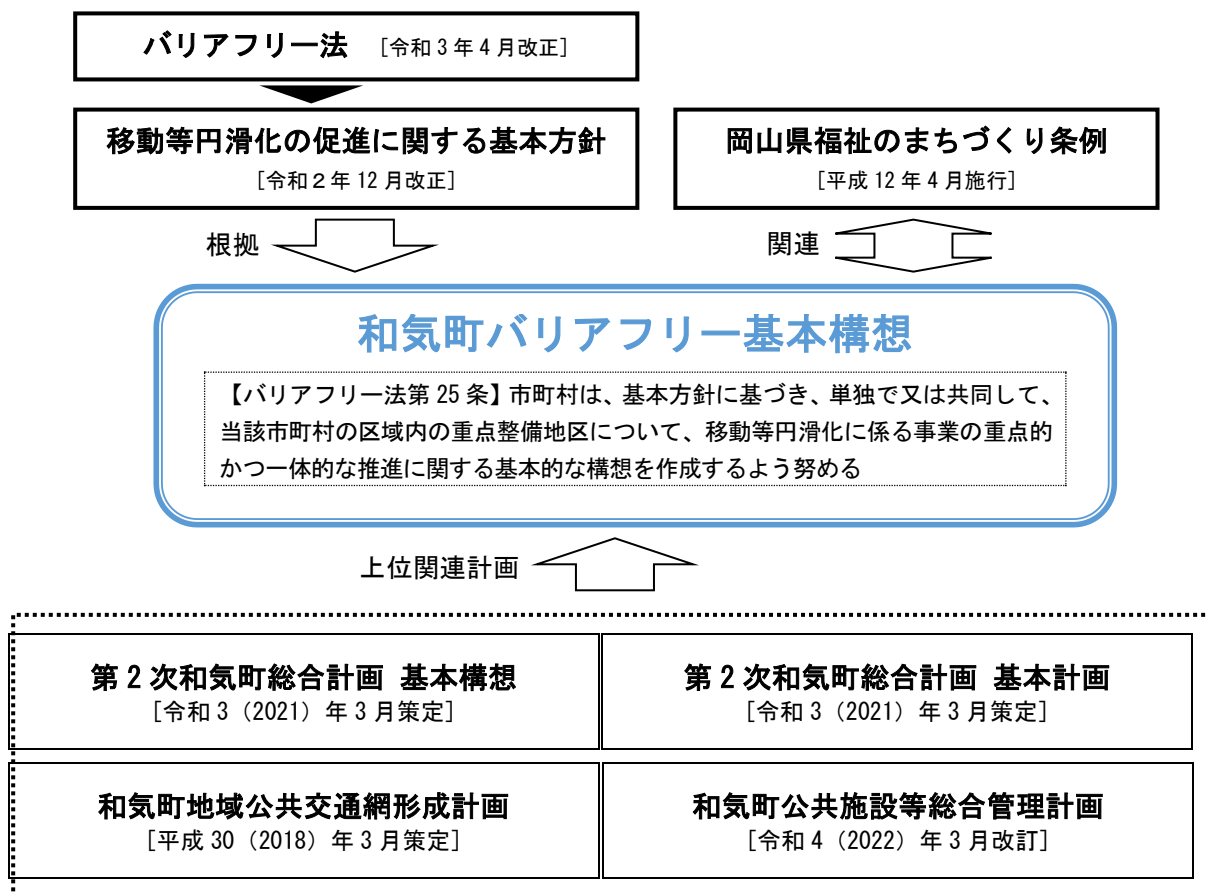


図 基本構想の位置づけ

5 目標年次

和気町バリアフリー基本構想の目標年次は、令和15(2033)年度に設定し、位置付けた事業等については目標年次までに達成することを目指します。